

## 急性胆嚢炎に対する手術に関する検討

### 1. 研究の対象

2012年1月から2021年3月までに当院で急性胆嚢炎に対して胆嚢摘出術を受けられた方々。

### 2. 研究の目的・方法

研究対象となる方々の当院診療録に保存されている来院時の検査結果、周術期データについて後方視的検討を行い、急性胆嚢炎における緊急手術と経皮経肝胆嚢ドレナージ後の待機的手術の成績を分析する。これにより、全身状態や検査結果から、いずれの治療方針がより安全かを明らかにできるようにする。

### 3. 研究に用いる情報の種類

以下の臨床情報を診療録より取得します。

年齢、性別、BMI、ASA、チャールソン併存疾患スコア、来院時血液検査、画像検査、病理検査、周術期・術後経過等

### 4. 外部への情報の提供

本研究は信州大学医学部附属病院消化器・移植・小児外科が主任研究機関となつて行う多施設研究であり、主任研究機関以外への情報提供は行いません。また、主任研究機関へ情報提供をする際には、当院で個人を特定できないデータベースを作成した後に提供します。研究成果の学会、論文などにおける発表に際しては、個人を特定できないデータベースを作成し、個人情報が入院外に漏れることのないよう十分配慮します。

## 5. 研究組織

長野市民病院 外科

## 6. お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方またはその代理人により、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置をおこないますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

なお、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益を受けることはありません。ただし、お申し出頂いた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表された場合等には結果を廃棄できないこともあり、引き続き使用させていただくことがあります。

長野市民病院 臨床試験運営事務局

電話番号：026-2295-1199